

治山台帳についてのアンケート結果

No	大項目	質問内容	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
1	はじめに	貴森林管理局名を教えてください。	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
2	はじめに	治山台帳の取り扱いが署や地域によって異なる場合、大変お手数をおかけしますが、署・地域ごとに本アンケートを回答いただけますでしょうか。					全署統一		
3	はじめに	治山台帳にて、管理している施設等を選択してください。 (参考：治山技術基準より) 山地治山事業 ①治山ダム ②護岸工 ③水制工 ④流路工 ⑤山腹基礎工（土留工、埋設工、水路工、のり枠工など） ⑥山腹緑化工（緑化基礎工、植生工、植栽工など） ⑦落石防止工（落石予防工、落石防護工、森林造成など） 防災林造成事業 ⑧防潮工（防潮堤、防潮護岸、小波工など） ⑨砂丘造成（堆砂工、覆砂工、防浪工など） ⑩森林造成（生育基盤盛土工、植栽工、防風工、保育など） ⑪防風林造成（防風工、水路工、暗きょ工、植栽工など） ⑫なだれ防止林造成（雪び予防工、発生予防工、誘導工など） 地すべり防止事業 ⑬抑制工（浸透防止工、水路工、集水井工など） ⑭抑止工（杭工、シャフト工、アンカー工など） その他 ⑮保安林管理道 ⑯上記以外でありましたら記載をお願いします。	1,2,3,4,5,6,7,8,10,13,14,16 10(保安林改良、植栽・下刈・防風垣等) 16(生活環境保全整備事業等)	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16（本数調整伐）	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16(本数調整伐等治山事業による森林整備)	山地治山事業 ①治山ダム ②山腹工 ※主に、標識、標柱のある施設を管理 地すべり防止事業 ⑬抑制工 ⑭抑止工 その他 ⑮保安林管理道 ⑯治山資材運搬路	1～15すべて該当 16（資材運搬路）	「1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12」	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14
4	はじめに	治山台帳の作成を不要としている施設や事業がありましたら教えて下さい。	治山事業による本数調整伐、除伐などの保育等 (下刈りは一部作成署がある模様)	基本的に治山費を使用した事業は治山台帳を作成することとしている			無し	治山事業による本数調整伐、下刈り、除伐などの保育等	治山事業による本数調整伐、下刈り、除伐などの保育
5	台帳・データの管理	治山台帳の整理方法を教えてください。	年度ごとに番号を付して、一覧表を作成 署によって異なる模様（災害・経常・地区もの）	年度ごとに番号を付して作成 一覧表の作成は署によってまちまち	年度ごとに番号を付して、一覧表を作成	年度毎に番号を付している。 表紙、図面、数量計算書を工事ごとに取り纏めて保管している。	年度ごとに番号を付して、一覧表を作成		年度ごとに番号を付して、一覧表を作成
6	台帳・データの管理	現在の貴局における治山台帳において、 施工箇所、林小坂情報、工種ごとの数量等の情報 をどのように管理されていますか。 ①紙資料（治山台帳）で管理 ②治山台帳の他、独自にエクセルファイルなどデジタル化を進めている	2	2	1	2	1	1	1
7	台帳・データの管理	上記で②を選択した場合、デジタル化のファイル形式を教えてください。 ①テキスト形式（csvファイル・エクセルファイル等） ②PDFデータ ③その他（ ）	1,2,3（jpg） 局独自のシステムを使用し上記のファイルを使用している。	2		データベース	-		
8	台帳・データの管理	現在の貴局における治山台帳において、 位置図 をどのように管理されていますか。 ①紙資料（治山台帳内に貼り付け）での管理のみ ②GISデータなどで管理している（GISデータで納品されたデータがある） ③独自に、GISデータへ、変換作業を進めている。 ④位置情報（座標値）のデータを管理している。	1 局独自のシステムを使用し図面上に記号を表示している。 位置図は画像ファイルで記録している。 治くんの中では位置図がデータ化されています、単独で位置図ファイルを開くことは出来ません。	1	1	1,2,3,4	1	1	1
9	台帳・データの管理	上記で②、③、④を選択した場合、管理するデータのファイル形式を教えてください。 ①GISデータ（shpファイル、kmlファイルなど） （拡張子： ） ②その他（ ）				shapeファイル（shp）	-		

No	大項目	質問内容	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
10	台帳・データの管理	現在の貴局における治山台帳において、管理している図面（構造図、工種配置図など）の種類をNo.3で回答された施設等ごとに教えてください	基本的に選択した全てにおいて構造図、山腹工等は工種配置図	山地治山： ① 図面の種類：平面図（一部署） 縦断面図（一部署） 構造図、埋戻図 ②③④ 図面の種類：平面図（一部署） 構造図、横断面図 ⑤⑥⑦ 図面の種類：平面図、構造図、工種配置図 防災林造成： ⑧ 図面種類：平面図、構造図、横断面図、工種配置図（一部） ⑨⑩⑪ 図面種類：平面図、横断面図（植栽工、保育は除く） ⑫ 図面種類：平面図、構造図、工種配置図（一部） 地すべり：⑬⑭ 図面の種類：平面図、構造図、工種配置図 その他： ⑮ 図面の種類：平面図、縦断面図 ⑯（本数調整伐） 図面の種類：位置図	現場、施設に応じて、位置図・平面図・標準図等の必要な図面をつけている。	①平面図、縦断面図、構造図、床掘図、間詰図、その他関連図面 ②平面図、縦断面図、工種配置図、出来型管理図ほか ③ 平面図、計画断面図、構造図、解析断面図 ④ 平面図、計画断面図、構造図 ⑤・⑥ 平面図、縦断面図、（横断面図） ※一定のルールはありますが、長期にわたる資料ですので、作成時期によって違いがあり、また、署毎でも若干の違いがあります。	①～⑦の平面図、工種配置図、縦断面図、構造図、間詰図、その他必要に応じ添付 ⑧～⑯位置図、平面図、工種配置図、構造図、標準図	施設名等：全No, 図面の種類：出来形図（構造図、展開図、配置図等）	工種によって異なる。 必要に応じて、平面図、縦断面図、構造図、工種配置図などで管理
11	台帳・データの管理	管理されている場合、どのように管理されていますか。 ①紙資料（治山台帳内に貼り付け）で管理 ②治山台帳の他、独自に、CADデータ等で管理している。	2	1	1	1	1	1	1
12	台帳・データの管理	上記で②を選択した場合、デジタル化のファイル形式を教えてください。 ①CADデータ（dxfファイルなど）（拡張子： ） ②その他（ ）	PC-mappingというソフト上でExcel、jpg、PDF等ファイル扱っている。				-		
13	台帳・データの管理	お使いのCADシステムなどありましたら、そのソフトウェア名を教えてください。 （ ）			建設CAD武蔵	武蔵	AUTOCAD、建設CAD 武蔵	建設CAD（武蔵） ※台帳の管理に使用しているわけではない。	EX-TREND官公庁シリーズ【武蔵】
14	台帳・データの管理	その他、治山管理に関連して管理しているデータなどありましたら、そのデータについて教えてください。	現地写真（古いものは現像写真及びスキャンデータ（PDF）） jpg等	現地写真については、エクセルに貼り付け、PDFにて管理している	完成写真	現地写真（近年はJPG、古い台帳は現像）	完成状況写真		現地写真（着工前と完成後等）
15	台帳・データの管理	治山管理において、導入しているシステム等ありましたら、そのシステムの名前を教えてください。	治くん		なし	施設管理システムではありませんが、「山地災害危険地区管理システム」を開発。今後、治山施設情報等を取り込み、治山業務の支援システムとして開発する計画。	導入システム無し		なし
16	台帳・データの管理	利用頻度を教えてください。	年間4～5回程度	月に2、3回	月に2、3回	月に2、3回	年数回程度		月に1回程度
17	台帳・データの管理	普段どのように利用されていますか？ ①治山施設の検索・位置の確認 ②治山台帳の更新 ③その他（ ）	1 2 3（調査発注時、災害発生時）	1,2	1	1,2	1、2、3（災害発生時の施設災の検討）		1,2
18	業務の流れ	治山工事発注前～治山工事終了までの間、現地の場所を確認する等の目的で地図資料を参照している場合、具体的な資料の種類をお聞かせください。 ① 基本図（紙） ② 基本図以外の図面（紙） ③ 国有林GISに搭載されているデータ ④ その他（具体的に教えてください。）	1,3,4（Googleearth）	1,2,3,4（グーグルアースに国有林の情報を反映させたもの）	1,3	2,3	1、2、3	「1,2,3」	1,2,3,4（流域別調査図、Googleearth）
19	業務の流れ	上記の資料・ツールを使っている理由について教えてください。	1：従来から使用しているため 3：広い範囲から目的のデータを検索しやすい 4：既存空中写真が古いため	1：基本図（紙）：施工箇所の保安林種、公園の有無等ある程度の法令制限が確認出来るため 4：グーグルアース：広い範囲からデータを検索しやすい	1：施工地だけでなく、周囲の状況を確認するのに便利な資料であるため。 3：広い範囲から目的のデータを検索しやすいため	2：一定のまとまりのある範囲で位置等を確認する 3：属性情報等の確認や地図印刷など	1：基本図（紙）：一番まとまっていて分かりやすい資料のため 3：国有林GIS：広い範囲から目的のデータを検索しやすい	1：大人数ですぐに確認できる 2：大人数ですぐに確認できる 3：設計図面等に加工し利用しやすい	1：基本図（紙）：地形等の把握 2：施業図（紙）：位置関係の把握 3：国有林GIS：任意縮尺での使用が可能 4：計画の把握、現地確認等が容易

No	大項目	質問内容	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
20	業務の流れ	上記の資料・ツールを使用する上で、使いづらい点・課題などありましたら教えてください。		1,2：図面が大きいため作業を行うために目的の場所をPDF等にしなればならない 3：データの更新が遅くて、最新のデータの確認には別資料が必要である	1：基本的に5年に1回の更新であるため、古い情報の場合がある。	2：目的によって参照する図面が異なるため、煩雑。 3：調べるだけではなく、数値や施設情報などを同時に把握したい。	基本図については、必要な箇所の検索及び印刷に手間がかかる。	1：持ち運びや取り扱いに注意が必要 2：持ち運びや取り扱いに注意が必要 3：利用にあたり一定の操作技術習得が必要	1、2：サイズが大きいため扱いにくい。 3、4：データ量が大きいため、読み込み等に時間が掛かる。
21	業務の流れ	治山工事の測量・実施設計発注時に、コンサル業者が納品する測量・設計図書について、様式やファイル形式などは定められていますか？ （各業者によって、納品される内容やファイル形式が異なるか） ①定められていない（業者によって内容やファイル形式等が異なる） ②定められている（統一されている）	1	1	1	2	2	2	1
22	業務の流れ	治山工事の測量・実施設計発注時等に納品される測量データのファイル形式を教えてください。 ①テキスト形式（csvファイル・エクセルファイル等） ②紙・PDFデータ ③GISデータ ④その他（							

No	大項目	質問内容	北海道	東北	関東	中部	近畿中国	四国	九州
30	その他	(必要) 治山台帳へ記載することや付属資料とあれば便利と思われる情報の項目を教えてください。	施工前後の写真（現状で有るが） 仮設内容等（現地によっては施工時のアクセス方法が判るため）	・上記29の内容、現場写真（災害直後の写真や点検時に撮影した現況写真等）	位置情報（座標値）、施設管理台帳、品質記録台帳	施工年度毎の情報ではなく、施設としての履歴がわかる台帳整備が必要。補修履歴、長寿命化計画の進捗管理	位置情報	位置情報	・位置情報（座標値） ・山地災害危険地区情報 ・施設点検調査結果、インフラ関係情報 ・調査設計データ
31	その他	治山管理を通して、現状抱える課題やご意見などございましたら、自由に記述してください。	台帳整理に関して、年に数回の作業などで忘れがちとなり、場合により数年に渡り抜けている。	・新しい技術について知見がある者が少ないので、新たな活用の可能性を提案してもらいたい（そもそも、どのような部分で活用があるのか分からないので、現行の作業フローの中から新しい技術が活用できそうな部分を教えてください。）。	特に無し	施設名や工種名、数量のカウント方法等に統一されたものがなく、長期にわたる資料を電子化するのに苦慮（定義付けが必要）。	現地確認時に治山台帳から検索する際時間を要する		・紙媒体での保存となっているため、検索に時間を要する。 ・統一したシステム等による管理による業務の効率化が必要。
32	その他	今後、新しい技術を活用した治山管理について、意見などありましたら、自由に記述してください。	新任者や異動に伴うので、簡単に誰でも扱い易いシステムの作成をして欲しい。 山地災害危険地区、土砂災害危険箇所等の情報を含めたGISソフト管理が理想です。	・GISの機能に治山台帳を流域毎及び年度毎などで検索できるようにして頂きたい。また、地すべり、溪間工及び山腹工別でも検索可能としていただきたい。 ・GISに紐づけて管理し、地図上の施設を選択することで上記に記載した情報を含め様々な情報が確認できるようにしたい。またそれらの情報をキーワードに検索し、該当施設を表示できるようにしたい。 単に治山台帳の管理にとどめず、危険地区の整備状況管理、長寿命化に係る個別施設計画の管理等とも関連付けられると利用価値があがるのではないかと。 ・治山担当者以外も確認できるよう、国有林のGISにも治山台帳の情報が表示されるようにして欲しい。 ・現場写真（現地踏査、ヘリ調査時の写真等）をGISと紐づけて管理したい。 ・赤色立体図等を活用した地形判読を行いたい（災害時の差分解析による崩壊地等の状況確認や治山流域別調査時の概況把握などに利用）。 ・新しい技術について知見がある者が少ないので、新たな活用の可能性を提案してもらいたい（そもそも、どのような部分で活用があるのか分からないので、現行の作業フローの中から新しい技術が活用できそうな部分を教えてください。）。（上記31にも記載）	特に無し	航空レーザー計測による詳細な地形情報の把握、情報の可視化、3D化、ハイスペックPCの調達、ネット回線の高速化、データバンクの一元化	GISソフトウェアに紐づけて管理したい	今後は、治山台帳などをGISソフト等に紐付けし管理していく予定	・台帳H34:M344の閲覧 ・3D画像等の活用 ・複雑化しないシステムの構築

No.3 治山台帳にて、管理している施設等

		北海道	東北	中部	関東	近畿中国	四国	九州
①治山ダム		○	○	○	○	○	○	○
②護岸工		○	○	○	○	○	○	○
③水制工		○	○	○		○	○	○
④流路工		○	○	○		○	○	○
⑤山腹基礎工（土留工、埋設工、水路工、のり砕工など）		○	○	○		○	○	○
⑥山腹緑化工（緑化基礎工、植生工、植栽工など）		○	○	○		○	○	○
⑦落石防止工（落石予防工、落石防護工、森林造成など）		○	○	○		○	○	○
⑧防潮工（防潮堤、防潮護岸、小波工など）	防災林造成事業	○	○	○		○	○	○
⑨砂丘造成（堆砂工、覆砂工、防浪工など）	防災林造成事業		○	○		○	○	○
⑩森林造成（生育基盤盛土工、植栽工、防風工、保育など）	防災林造成事業	○	○	○		○	○	○
⑪防風林造成（防風工、水路工、暗きょ工、植栽工など）	防災林造成事業		○	○		○	○	○
⑫なだれ防止林造成（雪び予防工、発生予防工、誘導工など）	防災林造成事業		○	○		○	○	○
⑬抑制工（浸透防止工、水路工、集水井工など）	地すべり防止事業	○	○	○	○	○		○
⑭抑止工（杭工、シャフト工、アンカー工など）	地すべり防止事業	○	○	○	○	○		○
⑮保安林管理道	その他		○	○	○	○		
⑯上記以外でありましたら記載をお願い致します。	その他	○	○	○	○	○		